

平成 26 年度 東蒲原郡阿賀町生活科部 活動報告

部長 高橋 直子

1 研究主題

やる気と自信をはぐくむ生活科を目指して

2 研究の概要

第 1 回・・・活動計画立案

第 2 回・・・複式学級における指導計画等の情報交換

第 3 回・・・実技研修「おもちゃ作り」

指導者 五泉市理科教育センター 小熊 進二 様

第 4 回・・・授業研究指導案検討会

第 5 回・・・授業研究 授業者 日出谷小学校 伊藤 峰子 教諭

単元名 おもちゃ作り (1・2 学年複式)

3 研究の実際

(1) 実技研修より

部員全員が、おもちゃ作りの実技研修をとおして、「工夫して遊びをつくり出すこと」「人とかかわりながらみんなで楽しむこと」を体験できた。その上で、指導案検討ができたことは大変よかった。実際におもちゃを作ってみなければ見えてこなかったことに気付き、児童が見通しをもって活動していくために大切にしたいことなどが検討会で話し合われた。

(2) 授業研究より

「紹介タイム」→「お試しタイム」→「パワーアップタイム」の流れで活動は進んでいった。児童は自分が作ったおもちゃの遊び方、うまくできたところや困っていることなどを発表し合い、納得できるおもちゃに改良しようとする姿が見られた。

おもちゃとたっぷり遊ぶ時間を保証してやることで、児童に気付きや思いをもたせることにつながることも、授業研究をとおして学ぶことができた。

授業者は、複式学級という形態の中、学年のレベルに合わせた細やかな支援と児童のいろいろな思いに共感的なまなざしで指導にあたっていた。



4 成果と課題

(1) 成果

授業研究では、複式学級での生活科の学習を公開してもらったことで、異学年がかかわる姿を見せてもらうことができた。今後、複式学級が増えていくであろう東蒲原郡において、少人数学級での授業のあり方を考える機会を提供してもらうことができた。

(2) 課題

少人数学級では作品も少なく、触れ合いも少ない。発想を豊かにさせるために教科書を活用するなど、これからの指導方法を考えていきたい。